

笑みを絶やさずって
いうんじゃないくて、
笑っちゃうことを探す



作家・エッセイスト
阿川 佐和子さん

昔の日本人は家事や日常生活で随分運動してたなって。

モデル出演の 阿川佐和子さんにインタビュー



インタビュー- 関純子さん（関西テレビアナウンサー）



体を動かしたりするのはお好きですか。

子供の頃から体を動かすのが好きで、そこら辺を走り回ったり、缶蹴りをしたりしていました。その後は卓球、テニス、スキー、ゴルフ...くらいですかね。

缶蹴りって仰いましたけど、子供の頃の遊びってどんな遊びでしたか。

子供の頃は、公団住宅みたいな、それも高層の団地じゃなくて、2階建てのメゾネット団地みたいな家に住んでいました。同じ団地内に住んでいる同世代の友達とゴム跳びとか、缶蹴りをしょっちゅうしていました。

でも、日が暮れてきても誰も探しに来てくれなくて...。それで泣いちゃったりして...。

そうなんですね。小さい頃から活発なお子さんだったんですね。

学校の行き帰りに、『ここを通ったら近道じゃない?』とか、『この道を行ったらどこに出るんだろう?』、『こっちの方が近道?』なんていつも考えていました。

